

Chapter V

東学思想と大巡思想の自生的近代性比較

A Comparison of Autogenous Modernity in Donghak and Daesoon

目次

1. 研究背景および
目的
2. 比較方法論
3. 天観(天観)の比較①:三才 vs
三界
4. 天観(天観)の比較②:先天 vs
後天
5. 地観(地観)の比較①:気化 vs
条理
6. 地観(地観)の比較②:地の意味と土(土)
7. 人間観(人観)の比較①:人乃天 vs 神人
調和



8. 人間観(人観)比較②:解冤・相生および人
間の役割
9. 概念対照:神道/人道、道器長存/
相生
10. 陰陽五行と世界観の再
解釈
11. 各思想の社会的・宗教的实践
12. 総合的特徴と差異の
要約
13. 結論および
示唆点
14. 参考文献および質
疑応答

研究の背景および目的

- 東学思想と大巡思想の自生的近代性の特徴比較
 - 東アジア近代性言説における重要性
 - 思想的社会的受容と変容の文脈
- リミナリティ (Liminality) の原理: 個体発生が系統発生を反復
- 東西近代性言説の接点と韓国的近代性の特徴
- 世界観構造の比較を通じた思想的特徴の研究



- 核心概念の比較分析
 - 天観(天観)、地観(地観)、人間観(人観)別の主要用語対照
 - 三才(三才)と三界(三界)、先天と後天、気化と条理など
- リミナリティ(Liminality)の原理を通じた思想発展の理解
 - 個体発生が系統発生を反復する原理で両思想を連携
- 教理的、社会的実践の様相の並列比較

東学思想

天外天・人乃天
の開闢・革命性

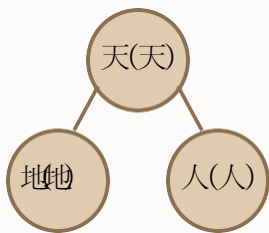
大巡思想

三界・神人調和
後天開闢・統合性

天観比較①三才(三才)vs三界(三界)

東学思想

三才(三才):天・地・人



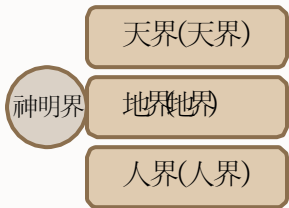
- 天外天概念の強調
- 属性的観点中心
- 三才の中で天・地・人の調和を強調
- 革命的平等思想の基礎

VS



大巡思想

三界(三界):天界・地界・人界



- 神明界の導入および強調
- 実体的・システムの世界的観の提示
- 属性と実体の統合的観点
- 九天(九天)の統察(統察)と調整

太極紋様

天觀比較②先天(先天)vs後天(後天)

東学思想

道路先天(道路先天)



- 先天・後天の区分が不
明確
- 道路先天-原点回帰的時間觀
- 「再開闢」は堯舜時代への回帰を意味
- 儒教的世界觀中心の時代認識

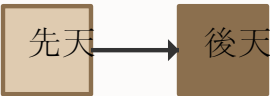
VS



大巡思想

後天開闢(後天開闢)

九天の人身降世



- 人身降世を基準とする明確な先後天の区
分
- 後天開闢-総体的世界觀轉換の契機
- 神明界と人間界の地位変化を招来
- 東西天觀の合徳と未来志向的近代性

太極紋様

地観比較①気化氣化条理調理

東学思想

気化氣化氣運の変化



- 気運(氣)の自然な流れの強調
- 地の本質的属性と変化の重視
- 有機的世界観に基づく自然変化
- 勞而無功(勞而無功):努力と修行

VS



大巡思想

条理(調理):理致と法則

神明界	法則(規則)	理(理)
調和(調和)	秩序(秩序)	均衡(均衡)

秩序と均衡の調整

- 理(理)中心の法則と秩序の強調
- 神明界と連結された構造的 세계 観
- 天地(天地)の調律と均衡の追求
- 天地成功(天地成功)成果中心

太極紋様

地観地観の比較②地の意味と土(土)

- 陰陽五行(陰陽五行)における土(土)の位相
 - 伝統的に土(土)は五行の中心であり安定性を象徴
 - 東学と大巡の両方で重要に扱われるがアプローチが異なる

東学思想



- 有機的世界観における土の役割
- 東学思想では土が循環の一部として認識

大巡思想



- 土(土)中心の世界論の深化発展
- 五行具備(五行具備)の基準としての土の重・太・深・極・盛・文・剛・陽・調

- 大巡思想の土(土)中心主義と世界観の拡張
 - 土(土)を通じた天地人(天地人)連結の具体化
 - 陰陽合徳(陰陽合徳)と五行の相生(相生)の原理を強

人間観比較①:人乃天(人乃天)vs 神人調和(神人調和)

東学思想

人乃天(人乃天):人が即ち天である



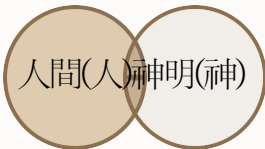
- 平等思想の根幹
- すべての人間内面にハヌルニ
- ム(天主)が存在
- 人間主体性と革命性の強調
- 輔国安民(輔國安民)志向

VS



大巡思想

神人調和(神人調和):神と人間の調和



- 解冤相生の實踐原理
- 天地人三界の調和の強調
- 人間と神明の相互作用
- 成事在人(成事在人):決定は人間に

太極紋様

人間観の比較②解冤相生および人間の役割

- 人間の役割の社会的実践の比較

東学思想	大巡思想
輔国安民(輔國安民):国と民を助け安全にする	解冤相生(解冤相生):怨みを解き共に生きる調和
平等思想:すべての人間の根本的平等性の強調	公事(公事)中心:天地公事を通じた人間の役割の格上げ
集體的革命的実践:東学農民運動として表出	個人と現実問題の解決:実践を通じた後天世界の建設

- 人間の主体性の近代的表現方式の差異
 - 東学:不然其然(不然其然、そうでないがそうである) - 神秘性
 - 大巡:成事在人(成事在人、事の成功は人にかかる) - 主体性、実践性の強調
- 自生的近代性の実現形態



概念対照神道/人道、道器長存/相生

東学思想

人道(人道)中心、道器長存(道器長存)



- 人道中心の観点の強調
- 神秘性の代わりに人間平等に注目
- 道器長存道は器にとどまる
- 道(道)の保存と永続性の強調

VS



大巡思想

神道・人道の調和、相生(相生)志向



- 神道と人道の調和の強調
- 神明界と人間界の統合的役割
- 相生(相生)互いに生かす原理
- 共存と調和を通じた問題解決方式

太極紋様

陰陽五行と世界観の再解釈

- 陰陽五行に基づく世界観の再構成

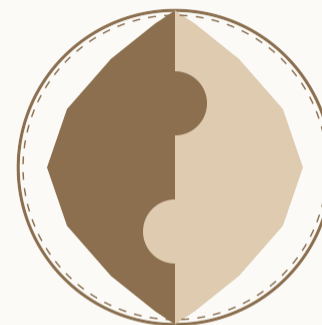
- 東学と大巡において共に陰陽五行の伝統的解釈を現代的に再活性化

東学思想



- 天外天概念を通じた陰陽論の拡張
- 五行要素の相互作用より陰陽中心の解釈

大巡思想



- 神明界を含む陰陽合徳・五行具備の強調
- 陰陽均衡と五行の総体的調和の重視

太極紋様

- 五行(五行)の相生(相生)と相剋(相剋)を通じた世界観の解

各思想の社会的宗教的实践

東学思想

- 社会革命志向 - 甲午農民戦争と直接的な社会変革運動
- 修練と呪文中心の宗教的実践 - 靈符、21字呪文
- 道人(道人)中心の共同体運動 - 身分制の打破
- 民族・民衆中心の平等思想の実行
- 神秘性と啓示を通じた宗教的権威の確立

大巡思想

- 解冤相生の实践 - 天地公事を通じた根本的世界の改造
- 儒仏仙の統合的修行体系 - 時限的な公事(時限付公事)
- 神明界と人間界の統合的実践 天地人合一
- 布徳(布徳)・教化(教化)・修道(修道)方式の实践
- 後天仙境建設のための道通真境の志向

太極紋様

総合的特徴および結論

比較観点	東学思想	大巡思想
天観(天観)	革命的平等思想、天外天中心の 道路先天(道路先天)志向	三界(三界)の構築、神明界の 導入 後天開闢(後天開闢)志向
地観(地観)	気化(氣化)中心、有機的世界観 勞而無功(勞而無功)	条理(調理)中心、法則的世界観 天地成功(天地成功)
人間観(人観)	人乃天(人乃天)思想 集团的・革命的実践	神人調和(神人調和)解冤 相生(解冤相生)の実践
近代性の特徴	超越天思想、社会革命的近代性 儒教の世界内改革志向	統合・具体的世界観の構築 調 和と相生の創造的近代性



東学思想と大巡思想は共に東アジアの伝統思想を基盤に西洋の近代性に対応して自生的近代性を具現した思想であるが、東学が超越的天観と平等思想を通じた革命的・社会的近代性を追求した一方、大巡思想は三界・神

参考文献および質疑応答

参考文献

- 金洪喆(1999)。「東学の宗教思想」。ソウル:ソウルアカデミー。
- 朴正圭(2003)。「大巡思想の理解」。抱川:大巡真理会出版部。
- 李慶原(2010)。「大巡宗学原論」。ソウル:文史哲。
- 李敦化(1934)。「天道教創建史」。ソウル:天道教中央総部出版部。
- 崔俊植(2007)。「東学の精神世界と現代的意義」。ソウル:モシヌンサラム
ソウル。
韓国精神文化研究院(1995)。「韓国宗教思想史」。城南:韓国精神文化研究院。

原典資料

- 「東經大全」
- 「天道教經典
+ 大巡典經
+ 典經」
- 「大巡指針
」

 太極紋様

「東学思想と大巡思想の自生的近代性比較」について
の質問と討論を歓迎します

研究者メール: whchoi7@naver.com